

連結バランシート

■ 平成11年度

バランシートで見る市川

貸借対照表

平成12年3月31日現在

1 固定資産	4,755億	1,700万円
1 総務関係(市庁舎・車両等)	140億	4,600万円
2 民生関係(保育園・福祉施設等)	144億	5,000万円
3 衛生関係(クリーンセンター・衛生処理場等)	451億	4,500万円
4 労働関係(勤労福祉センター等)	5億	4,800万円
5 農林水産業関係(市川漁港等)	3億	9,400万円
6 商工関係(計量検査所等)	1億	2,500万円
7 土木関係(道路・公園等)	1,487億	9,400万円
8 消防関係(消防署・消防救急車両等)	89億	3,300万円
9 教育関係(小中学校・公民館等)	1,407億	200万円
10 下水道(終末処理場・下水道管渠等)	725億	5,300万円
11 市場(地方卸売市場)	3億	800万円
12 病院(リハビリテーション病院)	71億	5,600万円
13 土地開発(土地開発公社の保有する土地)	68億	4,600万円
14 その他(財団等の保有する固定資産)	155億	1,700万円
2 投資等(出資金等)	131億	8,000万円
3 流動資産(現金・預金等)	299億	円
資産合計	5,185億	9,700万円

1 固定負債	1,904億	9,500万円
1 市債など長期借入金	1,709億	5,600万円
2 退職給与引当金	194億	8,600万円
3 その他引当金		5,300万円
2 流動負債	101億	2,900万円
(翌年度中に返済する市債等)		
3 正味資産	3,179億	7,300万円
1 国の補助金	1,535億	8,300万円
2 県の補助金	83億	4,200万円
3 市税等	2,560億	4,800万円
負債・正味資産合計	5,185億	9,700万円

市民一人あたり	資産	118万5,416円
	負債	45万8,588円
	正味資産	72万6,828円
市民一世帯あたり	資産	270万9,677円
	負債	104万8,261円
	正味資産	166万1,416円

【作成上の前提条件】

- 一般会計、全ての特別会計、公営企業会計、土地開発公社、〈財〉開発協会、〈財〉清掃公社、〈財〉福祉公社、〈財〉文化会館を対象として作成しています。
- 作成方法については、国の示した作成基準に準じて作成していますが、特別会計等を含めたバランスシートについては、定まった作成方法がありませんので、市川市独自の方法で作成しています。
- 昭和44年度以降の決算データをもとに作成しています。
- 固定負債は、市債のほか外郭団体の借入金を含むため、市の借入金残高と一致しません。

【バランスシートとは】

企業会計において作成されるバランスシートとは、企業の財政状態を明らかにするため、ある一定時点における全ての資産、負債、資本を記載したもので、企業会計では損益計算書とともに最も重視されている財務諸表のひとつです。

【市川市のバランスシートから読み取れることは】

上記のバランスシートを見ると市の固定資産が平成11年度末現在で4,755億1,700万円あることが分かります。特に金額の大きいものは、これまで市の人口増加に対応してきたことによる、道路や公園などの土木関係と小中学校や幼稚園、公民館などの教育関係です。一方、その整備の財源として市税や国・県の補助金のほかに、市債といった借金もあることも分かります。借金は必ず返さなければなりませんから、固定資産の整備にあたっては、負債の増加に十分注意をして進めていきます。

このように、バランスシートを見ることによって、市の資産と負債の状況を知ることができます。